

疾病の成り立ちと回復の促進

専門分野

授業科目	体を守ることの病を見る	講師	氏名	①池上和範 ②掛札博士 ③西岡加代子	開講年次	2年次前期	単位・時間 1単位 15時間	
			所属	①②病院 ③専任教員				
			実務経験	①医師 ②③臨床看護師				
科目のねらい	看護師が看護実践するためには、疾病に対する知識が必要である。アレルギー・膠原病及び感染症の代表的な疾患を中心に、その原因、病態生理、特徴的な検査、治療などを学習し、臨床看護に必要なアセスメント能力を身に付ける。							
到達目標								
知識・技術	1. アレルギー・膠原病・感染症が出現するメカニズム及び原因を理解し、説明できる。 2. アレルギー・膠原病・感染症疾患に対する検査、治療の目的を理解し、説明できる。 3. 日常に起こりうる感染症について説明できる。 4. 各器官についての知識を活用し、マインドマップを作成することができる。							
思考判断・表現	1. 各疾患の病態生理についてテキストを活用し、調べることができる。 2. 疾患から起こりうる合併症や予後を考察し、発言できる。 3. I～IV型までのアレルギー反応の機序を説明し、代表例をあげることができる。							
主体的学習態度	1. 講義において積極的に質問し、理解しようと努力する行動がみられる 2. 主体的に予習・復習を行うことができる							
科目評価	定期試験（筆記）80% 課題20% 合計100%							
テキスト	ナーシング・グラフィカ 健康の回復と治療⑦ 疾病と治療（メディカ出版）							
参考文献	ナーシング・グラフィカ 疾病と看護④血液/アレルギー・膠原病/感染症（メディカ出版） ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑤ 造血機能障害/免疫機能障害（メディカ出版）							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	アレルギー症状とその病態生理 I～IV型アレルギー	○			池上和範	からだの構造 からだの機能 日常生活から見るからだ 治療学総論 病理学総論 臨床薬理学	身体の仕組みと働きについて事前に復習して臨むこと。 また講義資料を持参すること。	
2		○						
3	膠原病、自己免疫疾患とその機序 症状とその病態生理	○						
4	1) 自己免疫疾患 SLE 関節リウマチ シェーグレン症候群 強皮症	○						
5	感染症 症状とそのメカニズム 1) HIV感染症と日和見感染	○			掛札博士		膠原病及び感染症のマインドマップを記載。 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ予防策を調べレポートする。	
6		2) 日常的に起こりやすい感染症対策とその予防を検討 ・シミュレーションレポートする	○					
7				○				
8	体を守ることをに看るとは？	○			西岡加代子			